PRESS BRIEFING / KEIHANNA STUDENT SUMMIT 2026

「けいはんな Student Summit 2026」キックオフミーティング

10 月 3 日、約 40 名の学生が「未来を考える」活動をスタート

主催：けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議

「けいはんな学研都市の地で未来について考える」

けいはんな万博 2025 から始まった挑戦。
「ポスト万博シティけいはんな」の実現に向け、未来社会を体験・共創する一年間が始まっています。
こうした流れを次の世代につなげる取組として、**けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議**では、「けいはんな Student Summit 2026」を開催します。
けいはんな学研都市の 13 大学から推薦された学生が、大学・専門分野の垣根を越えてチームを組み、研究者や企業等との対話を通じて、これからのけいはんなの未来について考えます。
10 月 3 日(土)には、学生と大学・研究機関等の関係者が一堂に会するキックオフミーティングを開催し、活動をスタートします。

■ キックオフミーティング

日時 2026 年 10 月 3 日(土)14:00～15:45
（受付開始 13:30）
会場 けいはんなプラザ 3 階 ナイル A
参加学生 けいはんな学研都市の 13 大学から推薦された学生
（学部 3 年生以上・大学院生、約 40 名を予定）
共創会議参加者 13 大学、8 研究機関のメンター、若手研究者、関係者、3府県・関経連担当課長ほか

■ 当日のプログラム(案)

① 挨拶
西尾章治郎 国際高等研究所所長(共創会議・座長)
② 趣旨・活動概要説明
加藤博一 奈良先端科学技術大学院大学 理事・副学長(共創会議・事業推進部会長)
③ オリエンテーション
活動の進め方やメンターの役割等を紹介
④ チーム形成・自己紹介・グループ討議
大学・専門分野の異なる学生がチームを結成し、これから考えていく「未来の問い」について語り合う
⑤ 今後の活動について
研究機関・企業等との対話や施設訪問、未来フェス等への参加を通じた今後の活動を紹介

■ 学生と大学・研究機関・企業等が、ともに未来を考える

Student Summit では、学生が一つの「答え」を出すことだけを目的とするのではありません。
大学や専門分野の異なる学生が出会い、研究者や企業等との対話を重ねながら、
「これからのけいはんなは、どんな未来を目指すのか」
「私たちは、その未来にどう関わることができるのか」を考えます。
異なる視点を持つ学生同士だからこそ生まれる「問い」を出発点として、未来社会について考え、学び、行動する機会をつくります。

■ キックオフ終了後には交流の場も

キックオフミーティング終了後には、学生、大学・研究機関、企業、行政等の関係者が交流する機会を設けます。
けいはんな万博 2025 から始まった挑戦を、未来フェス、そして次の世代の活動へ。
学生とけいはんなの多様な主体が出会い、未来について語り合う場とします。

けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議

・参画機関：１３大学・８研究機関等

大阪公立大学、大阪大学、大阪電気通信大学、京都大学、京都府立大学、同志社女子大学、同志社大学、奈良学園大学、奈良教育大学、奈良県立医科大学、奈良県立大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、国際高等研究所、国際電気通信基礎技術研究所、国立国会図書館関西館、情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、地球環境産業技術研究機構、国立文化財機構奈良文化財研究所、理化学研究所、量子科学技術研究開発機構関西光量子科学研究所

【お問合せ先】 けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議 事務局
（京都府相楽郡精華町光台１丁目７けいはんなプラザ内）
（公財）関西文化学術研究都市推進機構　田中 照彦（0774-98-2277、t-tanaka@kri.or.jp）